

I. 調査地域の位置と自然環境

今回植生調査および植生図化の対象となった地域は、敦賀半島とくに先端部を中心とした地域である (Fig. 1 参照)。敦賀半島は若狭湾に突出した大小9つの半島の1つで、若狭湾の東端部に位置する。



Fig. 1 植生調査地域付近概況図
Das Untersuchungsareal und sein Nachbargebiet

若狭湾は山地が迫ったリアス式海岸で、各地に断崖絶壁が見られ、また舞鶴湾、小海湾、敦賀湾や三方五湖など自然の良港や湖が点在している。リアス式海岸や自然植生がおりなす自然景観にすぐれ、海岸線を中心に「若狭湾国定公園」として指定されている。

敦賀地区の周辺には、西方ヶ岳 (764m)、サザエ岳 (685m) などの山地が屹立し、海岸線にまで山地が迫り、半島最先端の立石崎や周辺の海岸線は、花崗岩性の海蝕崖が豪壮な景観を呈している。

1. 気 候

敦賀地区の気候は、夏季は比較的高温で、冬季は降水量の多い日本海型の北陸気候区に属す

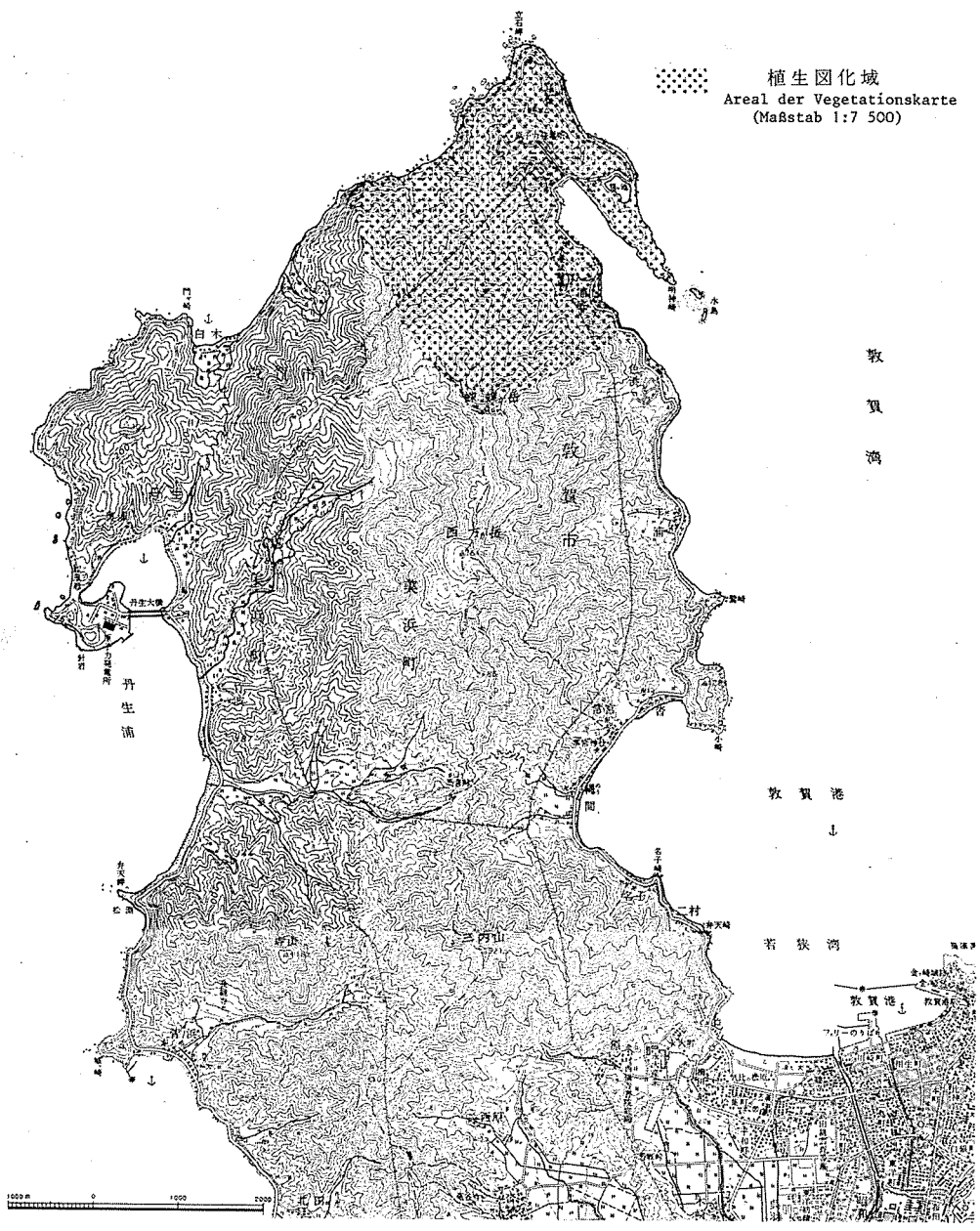


Fig. 2 敦賀半島概観図
Topographische Lage der Halbinsel Tsuruga.

る。対島暖流の内湾流の影響を受け海岸部では年平均気温が14℃以上である。これは太平洋岸の東京や名古屋の気温とはほぼ同じである。雨量は冬季の季節風による降雪が大きく影響し、年間を通じて12月及び1月の降水量が最大となり、8月の降水量が最小で、年降水量は2,500mmを越える。

Tab. 1 敦賀における気候（1931～1960年の平均）
Meteorologische Daten von Tsuruga
(Mittlere Werte von 1931 bis 1960)

月 Monat	Wert 区分	Lufttemperatur (°C) 気 温			Niederschlag (mm) 月 降 水 量
		Mittel 気温の月平均	Absolutes Temperatur- Maximum 最高気温の月平均	Abs.Temp.-Minimum 最低気温の月平均	
1		3.6	6.7	0.4	347
2		3.7	7.1	0.4	215
3		6.6	10.7	2.6	162
4		11.8	16.6	7.1	134
5		11.6	21.2	12.4	128
6		20.8	24.9	17.2	173
7		25.0	29.1	21.8	209
8		36.3 *	31.0 *	22.6 *	153
9		22.1	26.9	18.5	221
10		16.3	21.1	12.2	196
11		11.5	16.0	7.3	204
12		6.6	10.1	3.2	350 *

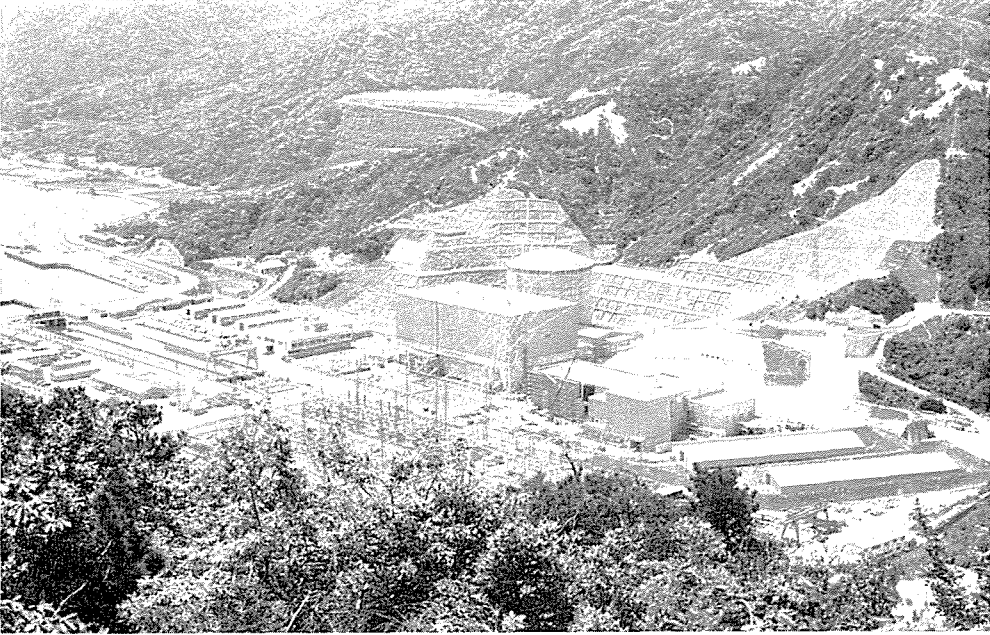
* 年間最高値 maximale-Werte

2. 地形と地質

敦賀発電所は敦賀半島の先端部、浦底湾奥の凹部に位置する。敦賀半島はサザエ岳、西方ケ岳、馬背峠を南北にのびる背骨とし、海岸まで山地の迫ったリアス式海岸を形成する若狭湾に突出している。敦賀半島の地質は新期花崗岩類からなっており、最先端の立石岬周辺及び西側海岸沿い山地の傾斜は急で、垂直にそそりたつ海蝕崖が見られる。一方、東側海岸は、浦底、手浦、常宮などに比較的緩斜面が見られ、集落が発達している。先端部付近の猪ヶ池から明神崎にかけての地域は標高50m前後の丘陵地で特異な地形を呈している。

3. 植生概観

敦賀地区は花崗岩を基盤としており、表層土の形成がきわめて悪く、土壌は乾燥しやすく人為的影響によりきわめて裸地化しやすい。敦賀原子力発電所周辺は、コナラ、クリ、ヒサカキなどから構成されるコナラ林とアカマツ、ソヨゴなどから構成されるアカマツ林が広い面積を占めて



Phot. 1 敦賀原子力発電所の概観。周囲は、コナラ林、アカマツ林でおおわれている。
Übersicht des Tsuruga-Atomkraftwerks. Die Umgebung ist mit *Quercus serrata*-
und *Pinus thunbergii*-Forsten bedeckt.



Phot. 2 尾根筋に白茶けた地肌をみせるサイゴクミツバツツジ—アカマツ群落。
Rhododendron nudipes-*Pinus densiflora*-Gesellschaft auf verwittertem Granit-Gestein.

いる。尾根筋のアカマツ林はサイゴクミツバツツジーアカマツ群落にまとめられる。その生育地は乾燥した立地で土壌が浅く、所々に白茶けた地肌をみせ、わい曲した低木林となっている(Phot. 2)。

浦底，猪ヶ池付近にはススキ草原が広がっており，一部の水田放棄地にはヨシ草原，ハンノキ林が小面積ながら見られる。立石岬付近には，この周辺では少ない常緑広葉樹林，スダジイ林，タブ林が生育している。敦賀半島を南北につながるサザエ岳，西方ヶ岳などの山頂部付近には，一部ブナ林が発達している。